

降誕会

五月二十一日は『降誕会』といって、宗祖親鸞聖人のお誕生をお祝いする日です。

親鸞さまのお誕生をお祝いするということは、とりもなおさずまた、私のいのちの誕生をお祝いすることでもあります。なぜかと云うと、親鸞様というお方はわたくしたちに、眞実のいのちに生まれかわるお念佛の道を伝えるためにお生まれくださいた方だからです。

だから、親鸞様のお誕生日は、わたしの、お念佛のいのちへの誕生日でもあるのです。

お念佛、ナモアミダブツということは、世間によくあるお祈りのことばではありません。わたしの勝手なわがままでありません。わたしの勝手なわがままを仏様や神様におねだりするような言葉でもなおさらありません。

ナモアミダブツは、如来様が「どこでどんなことをしている者でも、たとえ道に背き、利己的な般に閉じこもって如来さまに逆らう者だつて、その般を突き破り打ち碎いて、なにがなんでも、この如來の大きな真実清淨ないのちの中に、からめとり生まれかわらせたい」という、おおきな願いから叫びだされた喚びごえであるのです。

道を求めて励んでいる人も、煩惱のかにドップリ浸かって浅ましい日暮をしている人も、此の世この時代に生きている人達みんなに「親鸞と共に同心に、いまこそ南無阿弥陀仏のおおいなるいのちの呼び声に目覚め、共に同心に、おおいなる如米のいのちに生まれかわせていただこうではないか」と、そのためにお生まれくださいたのが、それが親鸞聖人お誕生です。

五月二十一日は親鸞聖人の誕生日。そして私たちの、お念佛の命への誕生日であるのです。

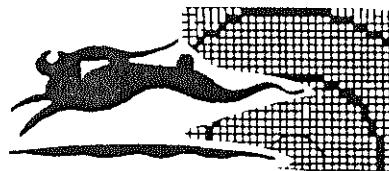
おかげさま」と 喜び満ちて

姫路西組 高原 義夫



兵庫放区門徒推進連絡協議会

研修旅行



瑞泉寺へ

山陰石見への旅



6月28日(日)

勝林寺発6:30→鳥取砂丘9:00→米子11:30
めのうセンター(昼食)→温泉津町・瑞泉寺
15:40~17:00→志学温泉「三瓶荘」(泊)

6月29日(月)

ホテル発8:00→石見銀山9:00→出雲大社
(昼食)→めのうセンター14:30→八橋16:
30→鳥取砂丘18:00→出石20:00迄

☆申込 仏婦評議員を通じ6月13日(土)までに勝林寺あて郵送か郵便受けに入れてください。

勝林寺仏堂・仏婦評議員



昨年わたくし、股関節入れ換え手術をしました。やっと起きあがれてリハビリにはいりましたが、股関節が硬くて曲げるのに苦しむ毎日がありました。

主治医の先生にお尋ねしますと、と主導医の先生にお尋ねしますと、人工のものは人工のもの。自然のような精巧なものは出来ないんだよ。90%までより曲がらない。あなたの元の股関節は死んでしまっているので、杖に頼らねばならない。杖は絶対に離してはいけないよ。

手術すれば元になると信じていた私、

大きなショックを受けました。何日も打ち沈んでいるうち、そうですがわたしのからだ、わたしのいのちは、科学や人工ではおよびもつかない、大きな力によって包まれ生かされていました

のだということを、こころのそこに沸き立つようにハッと感じさせていただきまよ。

手術すれば元になると信じていた私、

大きなショックを受けました。何日も打ち沈んでいるうち、そうですがわたしのからだ、わたしのいのちは、科学や人工ではおよびもつかない、大きな力によって包まれ生かされていました

のだということを、こころのそこに沸き立つようにハッと感じさせていただきまよ。

お陰様、一年たつてようやく草むしり烟仕事を手伝えるようにさせていただきました。

生かされて生きる歓びを感謝しながら生活したいと思います。

どうぞいつまでもお導きくださいませ。

『寺報』でよくいわれている阿弥陀さまのお慈悲というのでしょうか。元気なときには頭で素通りしていたおみのりでございました。

おはすかしい私であつたと勿体なく合掌しお念佛申したことでございました。

お陰様、一年たつてようやく草むしり烟仕事を手伝えるようにさせていただきました。

生かされて生きる歓びを感謝しながら生活したいと思います。

どうぞいつまでもお導きくださいませ。

合掌

